

仍テ鈴木委員長ハ閉會ヲ宣ス
(午後五時閉會)

樺太廳官制改正ノ件外四件第一回審査委員會
昭和十八年三月十六日(火曜日)本院事務
所ニ於テ開會

出席者

原 議 長

鈴木副議長

審査委員長

清水顧問官

審査委員

機密
機密
機密

南(弘)顧問官

菅原顧問官

松浦顧問官

潮 顧問官

林 顧問官

二上顧問官

國務大臣

湯澤内務大臣

説明員

森山法制局長官

入江法制局參事官

荒木法制局參事官

山崎内務次官

古井内務省地方局長

竹内内務省管理局長

齋藤内務書記官

橋爪内務書記官

飯島内務事務官

小河樺太廳長官

竹内大東亞省總務局長

閣議院

今吉大東亞省滿洲事務局長

松尾大東亞書記官

根道大東亞書記官

田中關東局在滿教務部長

藤平關東局事務官

堀江書記官長

諸橋書記官

高辻書記官

(午前十時五分開會)

清水委員長開會ヲ宣シ樺太廳官制改正ノ件及
樺太廳官制改正ニ伴フ内閣官制外三勅令中改
正等ノ件ヲ議題ニ供ス湯澤内務大臣ヨリ兩件
ニ付説明アリ

南委員ヨリ樺太ノ現況ニ付質問アリタル後官
制ノ内容ニ付法制上ノ質問アリ湯澤内務大臣
森山法制局長官其ノ他説明員ヨリ夫々答辯ア
リ

菅原委員ヨリ樺太ノ内地編入ノ實ヲ問ヒ湯澤

樞密院

内務大臣及森山法制局長官ヨリ樺太ノ内地編入ニ付テハ夫々行政、財政及法制上ノ措置ヲ執リ但ダ内地編入ヲ圓滑ナラシムル爲若干ノ特例ヲ認メタルニ過ギザル旨答辯アリ

松浦委員ヨリ樺太ノ特殊事情ハ忽然トシテ消滅スルモノニ非ザル以上將來モ樺太ノ一般行政事務ハ樺太廳長官ヲシテ依然綜合的ニ執行セシムルモノナルヤトノ質問アリ森山法制局長官ヨリ暫定的措置トシテ特別地方官廳ヲ設ケザル趣旨ニ過ギザル旨ノ答辯アリ

潮委員ハ樺太廳特別會計ヲ廢止セザル理由及樺太ニ於ケル衆議院議員選舉法施行ノ時期ヲ問ヒ前者ニ付テハ山崎内務次官ヨリ特別會計ニ代ヘ新ニ地方費ヲ設定スルニ付尚考究ヲ遂ゲ成ルベク速ニ之ガ廢止ヲ期スベキ旨後者ニ付テハ湯澤内務大臣ヨリ衆議院議員選舉法ノ樺太ニ於ケル施行期ハ同法ノ改正ト相牽連シ決定セラレベキ旨夫々答辯アリ

林委員ヨリ官制規定ニ付條文上ノ質問アリ殊ニ樺太廳官制第十七條ニ所謂警察事務ノ範圍

如何ト、質問ニ付テハ政府側ニ於テ答辯ヲ保留ス

二上委員亦各種法制上ノ質問ヲ爲シ樺太廳官制第一條中部長ノ定員ニ專任ヲ附加シタルハ他ニ兼任ヲ認ムル趣旨ナルカヲ問ヒ森山法制局長官ヨリ北海道廳官制等ノ先例ニ倣ヒタルニ過ギズシテ別ニ兼任ヲ認ムル趣旨ニハ非ザル旨答辯アリ
委員長本日ハ之ニテ閉會スル旨ヲ宣ス

(午後五時閉會)

樺太廳官制改正ノ件外四件第二回審査委員會

昭和十八年三月十八日(木曜日)本院事務

所ニ於テ開會

出席者

鈴木副議長

審査委員長

清水顧問官

審査委員

南(弘)顧問官

關席者

菅原顧問官

松浦顧問官

潮顧問官

二上顧問官

原議長

審査委員

林顧問官

國務大臣

橋田文部大臣

説明員

青木大東亞大臣

森山法制局長官

入江法制局參事官

荒木法制局參事官

菊池文部次官

藤野文部省總務局長

小河樺太廳長官

竹内大東亞省總務局長

今吉大東亞省滿洲事務局長

機密

松尾大東亞書記官

根道大東亞書記官

田中關東局在滿教務部長

藤平關東局事務官

堀江書記官長

諸橋書記官

高辻書記官

(午前十時十分開議)

清水委員長開會ヲ宣シ在關東州及滿洲國帝國
臣民教育令ヲ議題ニ供ス青木大東亞大臣ヨリ説明ア
リ

南委員ヨリ關東州及滿洲國ニ於ケル帝國臣民教
育制度ノ現状ニ付各種ノ質問アリ田中關東局在滿
教務部長ヨリ夫々答辯アリ

菅原委員ヨリ滿洲國駐劄特命全權大使ガ國民學
校令其ノ他ニ加フルコトアルベキ別段ノ定如何ヲ問
ヒ青木大東亞大臣ヨリ答辯アリ

松浦委員ヨリ滿洲ニ於ケル帝國臣民ノ教育ニ付滿洲

區
密
院

國トノ關係ヲ問ヒ青木大東亞大臣ヨリ先般日滿協
定ニ依リ在滿帝國臣民ノ教育行政權ヲ我ニ留保シタル
當時ノ事情ハ今日ニ於テモ變更ナシト思考セララルヲ
以テ之ヲ滿洲國ニ委譲スル考ナリ滿洲國側ニ於テモ
現在之が意圖ヲ有セザルガ如キ旨説明アリ
潮委員ヨリ滿洲移民子弟ノ教育方針ヲ訊シ青木大
東亞大臣ヨリ答辯アリ

ニ上委員ヨリ本案ノ措置ハ在滿帝國臣民教育行
政權ノ基本規定タル日滿協定第十五條第二項ニ
所謂駐滿帝國特命全權大使ト滿洲國國務總理

トノ協議決定ニ基クモノナルカヲ問ヒ森山法制局長
官ヨリ昭和十二年十二月一日付公文機密第二一八號
滿洲國國務總理宛駐滿帝國特命全權大使ノ左記
書簡ノ擴張解釋ニ依リ別段新規ノ協議ハ要セザルモ
ノト解シタル旨答辯アリ

記

附屬協定(甲)第十五條第二項ノ規定ニ依リ滿洲
國ノ領域内ニ於テ行フ日本國又ハ其ノ臣民ガ日
本國法令ニ依リ開設經營又ハ管理スルコトヲ得
ル學校其ノ他ノ教育施設ノ範圍左ノ如シ

内地人子弟ヲ收容スル學校其ノ他ノ教育施設

右學校及其ノ他ノ教育施設ノ範圍ハ在滿學校組合及同聯合會ノ設立ニ係ルモ

及日本ノ教育令ニ準據スル内容ヲ有スル私立ノ國民學校令外四勅令中改正ノ件

次ニ委員長ハ國民學校職員ノ俸給等ノ負擔及樺太ニ於ケル國民學校職員ノ俸給等ノ負擔ニ關スル件ヲ議題ニ供ス橋田文部大臣及菊池

文部次官ヨリ夫々説明アリ南菅原松浦各委員ヨリ本案ノ細目ニ關シ質問

アリ藤野文部省總務局長其ノ他説明員ヨリ夫々答辯アリ

潮委員ヨリ内地國民學校職員ノ旅費中赴任旅費ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トアリテ其

ノ負擔程度明確ナルニ比シ樺太國民學校職員ノ旅費ハ樺太廳長官ノ定ムル所ニ依リ其ノ全

部又ハ一部ヲ國庫ノ負擔ト爲スコトヲ得ルモノトシ負擔ノ程度不明確ナルハ市町村財政ヲ

脅ス虞アリトシ其ノ負擔區分ニ付訊シ小河樺太廳長官ヨリ本則ハ寧ロ赴任旅費以外ノ旅費

相
密
院

ヲモ國庫ノ負擔ト爲スコトヲ得ルモノト爲サ
ントスル趣旨ナル旨ノ答辯アリ
ニ上委員ヨリ國民學校令第四十二條ニ附加セ
ラレタル^事項ニ於テ新ニ樺太ノ市町村が児童
教育事務ノ委託ニ應ズベキ義務ヲ規定シタル
所以ヲ問ヒ入江法制局參事官ヨリ國民學校令
第二十七條ニ委託關係ノ規定アルモ市町村ノ
義務ニ付テハ別途地方學事通則第五條ニ依リ
而シテ同法ハ今後モ樺太ニ施行セラレザルガ
故ニ茲ニ從來ノ樺太國民學校令第三條第三項

及第四項ノ規定ヲ包攝スルコトトシタル旨ノ
答辯アリ

森山法制局長官ヨリ前田ノ委員會ニ於ケルニ
上林兩顧問官ノ質問ニ對シ發言アリ即今

(一) 樺太廳官制第一條中、部長專任三人ノ專任
ハ他ノ先例ニ由リタルモ委員會ノ意見ニ依
リテハ之ヲ削除スルモ可ナル旨

(二) 同官制第十七條ニ所謂、警察事務從來ノ第
十四條ニ於テ執行官ノ職掌ニ關シ單ニ「事務
ト言ヒタルニ等シク其ノ範圍ハ第十三條第

區
密
院

一 号ノ事務ニ該當シ而シテ同條第二号以下
ニモ亦純警察事務ヲ存スルモ其ノ純警察的
面ハ第一号ノ警察事務ニ含マルルモノト解
スル旨、夫々答辯アリ

右終テ委員長ハ大臣及説明員ノ退席ヲ求ム

(大臣及説明員退席)

其ヨリ委員間ノ協議ニ入り各委員ヨリ所見ノ
開陳アリ結局樺太廳官制第一條中部長ノ定員
ニ關シ專任ノ字句ハ之ヲ削除セシメ然ル上本
案ハ之ヲ可決スベキ旨全會一致ヲ以テ議決シ

審査報告ノ作成ハ委員長一任ニ決ス

仍テ清水委員長閉會ヲ宣ス

(午後四時三十分閉會)

東京都官制外二件第一回審査委員会

昭和十八年五月二十四日(月曜日)本院事務所ニ於テ開會

出席者

原 議長

審査委員長

鈴木副議長

審査委員

窪田顧問官

區 審 院

植田

密田

院